

科学研究費基盤研究S「多波長ライダーと化学輸送モデルを統合したエアロゾル5次元同化に関する
先導的研究」の中間報告会のプログラム

日時 2014年10月29日午後3時から 10月30日午後3時まで
場所 九州大学応用力学研究所 西棟 W606 セミナー室

プログラム

10月29日

15:00-16:00

科研S研究の概要と狙い、モデル研究の進捗度
多波長ライダー観測計画と現状 国立環境研
富山大学への多波長ライダー導入計画 富山大学

九大 鶴野
国立環境研 杉本
富山大学 安永

16:10-17:40

1週間継続した黄砂・越境汚染時のPOPC&ACSA観測の解析
1週間継続した黄砂・越境汚染のモデル解析事例
ACSAエアロゾルとCMAQ比較、硝酸塩形成への海塩の役割

九大 Pan Xiaole
九大 原
電中研 板橋

17:40 討議と植松先生と河本先生からの意見

18:00 終了

10月30日

9:30-11:20

モデル解析グループの研究進捗

CTMと観測を統合したモデル解析の進捗概要
PM2.5に関わるエアロゾル組成の長期変動と排出量感度解析
地上観測エアロゾルを用いたモデルインバースの予備的解析他

九大 鶴野
九大 栗林
気象研 弓本

11:30-11:50

NH3/NH4と大気エアロゾル観測概要と方針

名古屋大学 長田

12:00-13:30 昼食

13:30-14:30

地上計測(福岡・福江)の現状と計画

JAMSTEC 金谷

MAX-DOAS法による微量ガス・エアロゾルの計測

千葉大 入江

14:30-15:00 総合討論と植松先生と河本先生からの意見

15:00 終了

その後、希望者は多波長ライダー、MAX-DOAS、POPC、MAAP-BC計、ACSA、NH3/NH4装置見学